

第8節 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために【環境保全, 緑・農地・水辺・公園】

8-1 脱炭素・循環型社会へ変革し、気候変動の抑制に貢献するまち【環境保全】

施策27 脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策と環境保全の推進

目的

対象 …… 市民, 事業者

意図 …… 人や生きものにやさしい, 環境負荷の少ないまちをつくる

施策と関連するSDGsの目標 (ゴール)



施策の方向

環境保全に係る情報発信及び環境学習等の充実による環境意識の醸成を図るとともに、温室効果ガスを削減する「緩和策」及び気候変動による被害の回避・軽減を図る「適応策」を推進し、環境負荷の少ない持続可能な環境都市の構築を目指します。

施策のポイント

- 環境に配慮したライフスタイルへの転換促進
- 再生可能エネルギー・環境負荷の低いエネルギー等の利用促進
- 公共施設や行政活動における二酸化炭素排出量の削減
- 脱炭素社会の実現や環境保全活動の担い手となる人材の育成と活動支援
- 市民・事業者・市が連携・協働した環境保全活動の推進

基本的取組の体系

施策27 脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策と環境保全の推進

27-1 脱炭素社会に向けた地球温暖化対策の推進

27-2 環境と調和した持続可能な社会を構築する担い手づくり

重点

5 地球温暖化対策の推進

環境学習・環境保全活動の推進

5 深大寺・佐須地域の里山, 水辺環境の保全・活用 [再掲]

基本計画事業

- 日常生活から廃棄されるプラスチックが、ごみとして海に流出することで、生態系破壊や人体への健康被害等の悪影響を誘発する海洋プラスチック問題が新たな環境問題になっていることを受けて、市は令和2年4月に、「CHOFUプラスチック・スマートアクション」を掲げ、市庁舎の自動販売機からペットボトルをなくすなど、使い捨てプラスチックの削減にも積極的に取り組んでいます。
- 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境を活用した環境活動の推進として、「佐須農（みのり）の家」を拠点に、自然豊かな地域の環境資源を活用し、農業体験や雑木林ボランティア講座等の環境学習・環境保全活動の推進に取り組んでいます。



<市庁舎のペットボトルをなくした自動販売機と掲示>



<啓発ロゴマーク>



<農業体験の様子>

基本的取組の内容

27-1 脱炭素社会に向けた地球温暖化対策の推進

◆脱炭素社会の実現に向けた総合的な取組の推進

調布市環境基本計画及び調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）に基づき、脱炭素社会の実現に向けた各種取組を推進します。

◆公共施設や行政活動における環境負荷低減の取組

環境マネジメントシステム¹の運用による環境配慮型の行政活動や、市有施設及び公用車における二酸化炭素排出量の削減に率先的に取り組みます。また、プラスチックごみの減量や海洋流出防止に繋がる取組を積極的に実施するため、CHOFUプラスチック・スマートアクションに基づく取組を推進します。

◆再生可能エネルギー等の普及拡大

太陽光発電や太陽熱利用など、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーについて、利用促進を図るための補助事業に関する情報提供に取り組みます。また、水素などの次世代エネルギーに関する普及啓発に取り組むとともに、電気自動車や燃料電池（水素）自動車等のZEV（ゼロエミッションビークル）の普及啓発を図ります。

◆環境配慮行動を促す意識の醸成

環境負荷の少ない、また、二酸化炭素排出削減につながるライフスタイル・ビジネススタイルの普及啓発や住宅の省エネルギー化の促進等を図ります。また、環境フェア等のイベント、環境に配慮したライフスタイルの普及につながる事業を通じて、環境意識の醸成を図ります。

◆気候変動適応策の推進

気候変動による被害の回避・軽減を図るため、暑熱対策を推進するとともに、地球温暖化及び気候変動に関する情報発信を行います。



<多摩川自然情報館の太陽光パネル>

1 企業、事業所等の組織がその運営や経営の中で自主的・積極的な環境保全行動に向けた取組を推進するにあたり、環境に関する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための体制・手続き等の仕組みのこと。

まちづくり指標

まちづくり指標	基準値	目標値
市域から排出されるCO ₂ 排出量	78.1万t - CO ₂ (平成25年)	57.5万t - CO ₂ (令和8(2026)年)
市の公共施設及び車両から排出されるCO ₂ 排出量 ¹	1万5,843t - CO ₂ (平成25年)	1万3,519t - CO ₂ (令和7(2025)年)

1 基準値及び目標値は、第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の基準値、目標値。
令和8年度の目標値については、第5次地球温暖化対策実行計画を踏まえて設定。

基本計画事業

No.	89	重点5				
事業名	地球温暖化対策の推進		区分	拡充	担当課	環境政策課
事業の概要	調布市地球温暖化対策実行計画区域施策編及び事務事業編に基づき、市民、事業者、市が一体となって、省エネルギーに取り組むとともに、再生可能エネルギーの導入を促進し、地域と一体となった地球温暖化対策を推進します。					
年度別計画	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設における率先取組（環境マネジメントシステム・省エネ法に基づく管理標準運用、公共施設における壁面緑化等） ○脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及促進 ○再生可能エネルギー等の利用促進 ○LED照明設置等補助事業 ○市民・事業者向け省エネ・再エネ設備導入等啓発・相談事業の実施 ○「(仮称)ゼロカーボンシティ調布推進協議会」の設置準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○「(仮称)ゼロカーボンシティ調布推進協議会」の運営 ○第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○協議会の提案に基づく取組 ○第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定 ○地球温暖化対策実行計画（区域施策編）中間見直しの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定 ○脱炭素化ロードマップ策定 	
事業費(百万円)	47	18	22	28		

27-2 環境と調和した持続可能な社会を構築する担い手づくり

◆連携・協働による環境保全活動の推進

市民・事業者・団体・学校等の様々な主体同士の情報交換や交流機会の創出、企業の社会貢献活動との連携等を通じて、環境保全活動の環（わ）の拡大を図るとともに、それぞれの活動を支援します。また、自治体間の広域連携による環境保全活動の取組を推進します。

◆環境教育・環境学習の充実

次代を担う子どもたちを含め、あらゆる世代におけるSDGsを意識した環境学習を推進するとともに、環境保全についての学習の機会・場の確保を図ります。また、多摩川自然情報館や佐須農の家を拠点とした、行政・地域団体・事業者等の様々な主体による環境教育・学習を展開します。

◆環境活動体験機会の創出

武蔵野の面影が残る深大寺・佐須地域の環境資源を活用し、農業体験や雑木林の維持管理等の体験型環境活動に参加できる機会の創出により、市民・事業者等の自主的な環境保全活動のみならず、各主体との協働に向けた仕組みづくりを推進します。

◆生物多様性の保全に向けた取組の推進

多摩川自然情報館における各種イベントや生物多様性パネル展の実施等により、生物多様性への関心を高め、都市の生活にうるおいを与える貴重な自然を大切にするための普及啓発を推進します。また、地域の生態系を保全するため、在来種の活用、特定外来生物（植物）への対策を推進します。

◆環境保全活動の活動支援と担い手づくり

環境保全活動に関する各種情報発信や環境フェア等のイベント、環境に配慮したライフスタイルの普及につながる事業の実施等を通じて、市民の環境意識の醸成を図り、環境保全活動の中心となる担い手づくり、様々な主体が協働して活動するための仕組みづくりを推進します。

まちづくり指標

まちづくり指標	基準値	目標値
環境学習事業及び多摩川自然情報館で学習した延べ人数	8,722人 (令和3年度)	1万2,450人 (令和8(2026)年度)
環境に配慮した取組を行っている市民の割合	98.3% (令和4年度)	99.0% (令和8(2026)年度)

基本計画事業

No.	90	区分	拡充	担当課	環境政策課
事業名	環境学習・環境保全活動の推進				
事業の概要	多様な方法で環境問題に関する情報を発信し、多世代に向けた環境学習の充実を進めます。あわせて、環境を支える担い手となる人材の育成を推進します。				
年度別計画	令和 5(2023) 年度	令和 6(2024) 年度	令和 7(2025) 年度	令和 8(2026) 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ○環境情報の積極的・効果的な発信 <ul style="list-style-type: none"> ・各種環境啓発事業の実施 ○環境学習の推進・自然体験型の環境活動機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習施設（多摩川自然情報館）、環境保全活動の拠点（佐須農の家）の管理・運営と活用 ○環境保全に取り組む人材の育成と活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・継続 ○継続 ・継続 ○継続 ○次期環境基本計画策定に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・継続 ○継続 ・継続 ○継続 ○次期環境基本計画の策定・子ども版環境基本計画の発行 ○湧水調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・継続 ○継続 ・継続 ○継続 	
事業費(百万円)	15	26	30	18	



< 環境学習 >



< 環境フェア >

No.	93	重点5			
事業名	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用 [再掲]	区分	拡充	担当課	環境政策課 緑と公園課
事業の概要	深大寺・佐須地域の豊かな環境を調布の貴重な財産として、次世代に引き継いでいくために「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、事業の検討・推進を図ります。				
年度別計画	令和 5(2023) 年度	令和 6(2024) 年度	令和 7(2025) 年度	令和 8(2026) 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ○深大寺・佐須地域の里山環境の保全・活用の推進 ○深大寺・佐須地域農業公園の暫定開園に伴う管理・運営 ○深大寺・佐須地域農業公園管理棟等の建築工事 ○環境学習の推進・自然体験型の環境活動機会の創出 ○環境保全活動の拠点（佐須農の家）の管理・運営と活用 ○環境保全に取り組む人材の育成と活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○深大寺・佐須地域農業公園の管理・運営 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	
事業費 (百万円)	149	18	18	18	



施策の推進，成果向上の視点に関する取組の方向

デジタル技術の活用

- オンライン会議システムを活用し，市民等を対象とした座談会やワークショップを実施します。また，市の公式 SNS 等を活用し，市民，事業者に対して，環境配慮に関する取組みに関する情報を発信します。

共創のまちづくり

- 市民，市民活動団体，事業者との協働による環境保全活動に取り組みます。
- 電気通信大学と連携し，高効率太陽光発電設備の実証に取り組みます。
- 事業者との協働により，化石燃料を使わないZEV（電気・水素自動車）等の導入・普及に向けた取組を進めます。

脱炭素社会の実現

- 脱炭素社会の実現に向け，市民，事業者，市役所全体で，地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）に位置付けた各種の取組を推進します。

フェーズフリー

- 太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の導入を促進し，平常時も災害時も安定的に電力を供給できる環境整備に取り組みます。

